



## 四旬節第3主日 (ルカ 13:1-9)

これから御聖体のイエスがともにいてくださる

本日は初聖体を受ける二名の子供たちのためにお話しします。あいにく、今週の福音朗読は初聖体の子供たちにはちょっと難しいし、内容が理解できたとしても、「悔い改めなければ、皆同じように滅びる」という厳しい警告をする内容なので、「中田神父様は紐差教会の黙想会指導のために出かけてきたよ。そして講話をしながら、神父様も一緒に心を入れ替えてきたよ。」それだけ話しておこうと思います。

さてこれからは、初聖体を迎えた子供たちと、今日大切なイエス様をお迎えするので、最後の心の準備をすることにしましょう。これまで保育園で、しっかり準備をしてきて、「御聖体にはどなたがおられますか？」と聞かれてもすぐに答えられるはずですが。最終試験だけ、ここで終わらせておきましょう。一人ずつ、同じことを聞きます。一人ずつ答えてください。ペトロ山内晴くん。御聖体には、どなたがおられますか？ヨゼフ福井琉太くん。御聖体には、どなたがおられますか？

ちゃんと答えることができましたね。このミサの中で、今日初めていただく御聖体には、イエス様がおられるのです。私たちの中に来てくださって、私たちとこれからずっとともにいてくださいます。御聖体の見える形は、薄くて、すぐに溶けてしまうものなのだけれども、御聖体におられるイエス様は、皆さんの中に居てください。

一つ約束をしてください。御聖体は、ミサに来て、ミサの中で拝領します。ミサに来なかったら、御聖体もいただけません。「一回もらったからもういいや」と言って、教会に来なくなったら、御聖体のお恵みも無くなってしまいます。約束してほしいことは、「これからも続けて、教会に来て、御聖体を拝領するよい子になりますか？」ということです。

一人ずつ、同じことを聞きます。一人ずつ答えてください。ペトロ山内晴くん。あなたはこれからも教会に来て、御聖体を拝領するよい子になりますか？ヨゼフ福井琉太くん。あなたはこれからも教会に来て、御聖体を拝領するよい子になりますか？立派な返事を聞きました。ここに集まった皆さんが、二人の返事を目撃者です。

さっきから神父様は、二人の名前にある言葉を付けて呼んでいますね。「ペトロ」山内晴くん。「ヨゼフ」福井琉太くん。この「ペトロ」とか「ヨゼフ」とか、この言葉は何ですか？もしかしたら、「分かりません」と答えるかも知れません。多分そうかも知れないと思って、今日説明します。よく理解してください。

この「ペトロ」「ヨゼフ」という言葉は、「霊名」とか「洗礼名」と言って、皆さんが洗礼を受けたときに付けてもらった聖人の名前なのです。洗礼式で神様の子供にしてもらった時に、聖人の名前を付けてもらって、その聖人に見倣うためです。晴くんは「ペトロ」を、琉太くんは「ヨゼフ」を見倣って立派な教会の人になってほしい。そう願って付けられた名前です。繰り返すけど、「霊名」とか「洗礼名」と言います。

では尋ねましょう。「ペトロ」ってどんな人ですか？「ヨゼフ」ってどんな人ですか？それから、「ペトロ」を思い出す特別な日がありますか？「ヨゼフ」を思い出す特別な日がありますか？ここまで説明して、初聖体の心の準備を完成させましょう。

ペトロは、イエス様に「わたしに従いなさい」と声をかけられて、弟子になった人で、十二人の弟子の一番弟子です。イエス様から信頼されて、「天の国の鍵」を授けられて、大切な「イエス様を信じる人の世話」を任せられました。イエス様から大きな仕事を任せられて、立派に仕事をした人です。そしてペトロを特別にお祝いする日は6月29日です。

ヨゼフは、イエス様のお母さんマリア様の夫で、神の独り子イエス様を大切に守り育てた方です。イエス様が生まれて、ヘロデに命を狙われたとき、マリア様とイエス様を連れてエジプトに避難して、守り抜きました。誰よりもよく働いて、イエス様が12歳になって立派に育つまで見守ってくれました。ヨゼフを特別にお祝いする日は3月19日です。

二人とも、すばらしい洗礼名をもらっているのです、これからも楽しみに教会に来て、ミサに参加して御聖体をいただきましょう。今日初めて御聖体をいただきます。特別な味がするかも知れません。お父さんお母さんに「御聖体はどんな味だった？」と聞かれたら、「ヒミツだよ」と言って構いません。あなただけの、特別な御聖体、初めての御聖体だからです。これから自分の言葉で決意表明をして、感謝の祭儀に移ることにしましょう。

四旬節第4主日(ルカ 15:1-3,11-32)